第5回札幌恵庭自転車道線恵庭工区延伸ルート検討委員会

ニュースレター No.6

2010 年 11 月 2 日発行
発行 / 恵庭市

「第 5 回札幌恵庭自転車道線 恵庭工区延伸ルート検討委員会」が開催されました

「札幌恵庭自転車道線 恵庭工区延伸ルート検討委員会」の第 5 回検討委員会を、去る 10 月 22 日(金)10 時から恵庭市役所にて開催し、委員 9 名と本委員会のアドバイザーである、北海道大学工学研究院の岸邦宏准教授が出席しました。

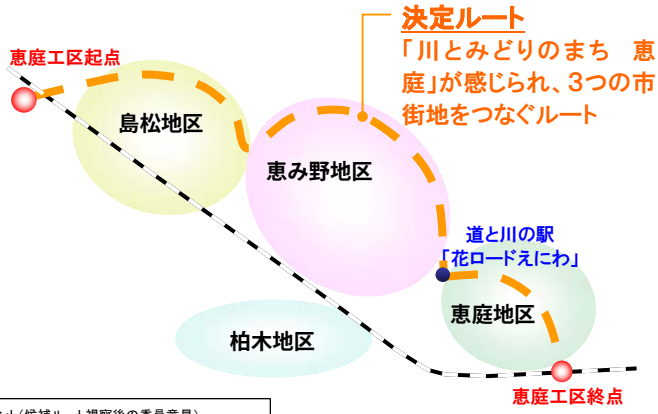
ルート案の検討について説明のあと、前回委員会に引き続き、意見交換を行いました。

□ルート案の検討について

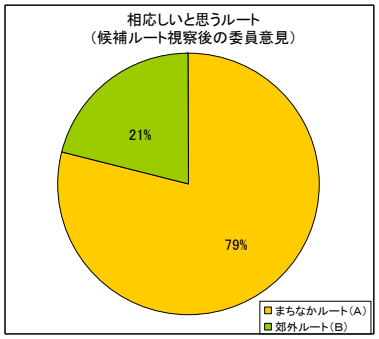
・車いす利用者を含めたみんなが利用できるような幅員となる自転車道整備が必要だと思うが、まちなかルートで可能か
⇒（事務局）「まちなかルート案」も歩行者、自転車利用者が利用できる整備を目指しており、本案を基本に提言書にまとめていく。

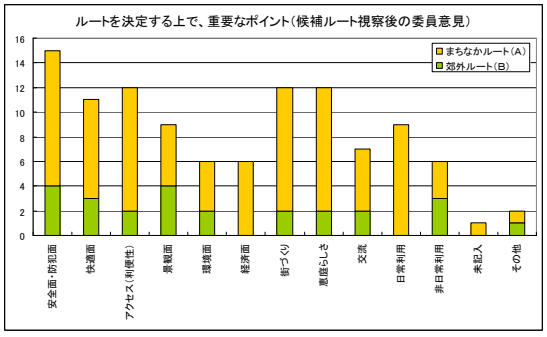
↓

・漁川を通るまちなかルートを基本とし、提言書にまとめていく。
・郊外ルートは市のサイクルネットワークの候補ルートとして、提言する。



ルート案





□整備の方針について

（1）名称

・今後、「仮）リバー＆グリーンロード恵庭」をＰＲしていくならば、道の駅の名称が「花ロード恵庭」であるので、統一して考えた方が良いのではないか。
・「仮）リバー＆花ロード恵庭」が目に入ってきやすい。
・市民に関心と愛着を持ってもらうため、名称を公募してはどうか。

↓

名称は、公募で決定する。

（2）方針

・方針の「利便性が向上する『みち』」は、ライフスタイルの向上などをテーマとする表現の方が、良いのではないか。
・住空間と緑・自然の境を通るルートなので、健康づくり・運動・散歩に利用されるような整備方針としたい。

□利活用方策について

・既存のイベントや大会などを呼び込んで利活用について検討した方が良い。
・エルフィンロードで行っているイベントと連携してはどうか。
・いろいろな発想を取り込むために、市民活動団体へＰＲしてはどうか。
・休憩施設や自転車の駅が必要である。
・レンタサイクルの充実を考えてはどうか。
・樹木の植栽は 30 年後を見越して考えるべきである。（樹木の種類など）落ち葉や剪定などの苦情がきたら切り倒すような管理は良くない。
・安全のため全ルートに照明灯を設置してほしい。
⇒（事務局）照明灯は交差点など交通安全上の目的の場合、検討できる。連続的に整備する事はこれまでに事例が無いので難しい。

次回の第 6 回委員会は、11 月下旬開催を予定しています。

「札幌恵庭自転車道線恵庭工区延伸ルート検討委員会」に関するお問い合わせは

【委員会 事務局 】恵庭市 企画振興部都市計画課 ｜〒061-1498 恵庭市京町 1 番地 ｜ 0123-33-3131
【委員会ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ】北海道札幌建設管理部 千歳出張所 道路係｜〒066-0067 千歳市桂木 6 丁目 1-28 ｜ 0123-23-4191